

料金後納郵便

ゆうメール

毎月1回5日発行
令和6年8月5日発行
昭和30年5月20日
第三種郵便物承認



高岡商工会議所会報

たかおか

8

2024
August

NO.796



【特集】 通常議員総会
令和5年度

事業報告・収支決算を可決承認

高岡銅器の風鈴 (JR新高岡駅)



7月22日に開催した通常議員総会において、令和5年度の事業報告と収支決算が承認された。

令和5年度は円安とエネルギー・原材料価格の高騰により経営に影響が続く中、能登半島地震が発生し伏木地域に甚大な被害をもたらした。この状況下で、ゼロゼロ融資の返済や新事業展開、インボイス制度、小規模事業者の身の丈デジタル化への支援、震災からの復興に取り組まれる事業者に対し伴走型支援を行った。

また、経済交流促進に関する覚書を締結した台北市進出口商業同業公会 (IEAT) に経済訪問団を派遣したとともに、台湾企業とのWEB商談会を初開催した。地域の魅力発信・観光振興としては、「たかおかパワーチェック！」(高岡検定)策定ワーキングチームの設置、高岡らしい食ブランドとして開発した「加賀前田御膳」の広報活動を行った。

各常任委員会にて協議している「当面取り組む10のテーマ」においては、行政機関への要望提言、会員事業者への広報活動等を行い、「高岡古城公園樹木管理行動計画」の推進や「JR城端線・氷見線 再構築実施計画」の認定等へ経済界の意見集約及び発信として役割を果たした。

以下に令和5年度に行った事業について記載します。

※注：◎重点施策 ◆2024年度までの優先施策

地域振興プラン・戦略1

交流人口の拡大による地域経済の活性化

推進方法1-1

「ニューノーマルにおける新しい観光スタイルの推進」

○広域観光の推進

(1)飛越能の玄関として、新高岡駅を拠点とする広域観光連携の推進

(ア)新幹線まちづくり推進
市民会議による利用促進事業

(イ)北陸新幹線沿線都市物産展事業

(ウ)たかおかいっぴんセレクション事業

(2)県西部地域にある観光資源の歴史文化ストーリーの活用と発信

(ア)「たかおかパワーチェック！」事業

◆(3)地元の人が地元の魅力を再発見するマイクロツーリズムを提案

(ア)県西部偉人活用事業

(イ)県西部観光モデルコースの提案・発信

◎デジタル化に対応した観光対策の推進

(1)SNS映えする魅力地の洗い出し等、興味を引く仕掛けづくり



【いっぴんセレクションPRカード】

(2)観光需要回復を見据え、インバウンド向け情報発信の充実

(ア)免税店設置支援情報発信事業

(イ)伏木港 大型客船歓迎事業

(ウ)日本商工会議所 第3回観光・インバウンド専門委員会 (高岡市開催)

◆(3)県西部6市の観光情報を発信する共通プラットフォームの再構築

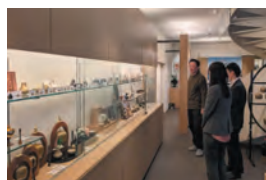
○プロモーション活動の強化

◆(1)大都市圏等の旅行会社へのツアー商品の提案

(ア)旅行会社招聘事業



【万葉埠頭での出店】



【旅行会社へのモニターツアー】

推進方法1-2

「藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり」

○個性あるキラコンコンテンツづくりと市民意識の醸成

(1)藤子・F・不二雄先生ゆかりの地の発信

(ア)藤子・F・不二雄先生のふるさとづくり事業



【GO!GO!スタンプラリー2023】

推進方法1-3

「歴史文化遺産の活用・産業体験観光による産業の活性化」

◎歴史文化遺産の活用と地域産業の活性化

- (1) 国宝勝興寺周辺の活性化
(ア) 勝興寺周辺活性化事業
- (2) 高岡古城公園の魅力向上策の推進
- (3) 山町筋、金屋町、吉久（国重伝建地区）における出店支援等、観光まちづくりの推進



【勝興寺 キーホルダー・コースター】

○産業体験観光の推進

- (1) 産業観光参画企業の拡大
(ア) 産業観光推進事業
- (2) 旅行会社等と連携した旅行商品化の推進
(ア) 旅行会社招聘事業
- (イ) 高岡食のブランド化事業



【高岡のうまみとたくみフェア】

推進方法1-4 「MICE招聘機能の充実」

○MICE招聘活動の支援

○高岡テクノドーム別館の整備促進

- ◆テクノドーム別館の令和9年度完成への働きかけ

地域振興プラン・戦略2

DX推進を柱とする企業競争力の強化

推進方法2-1 「DX推進による経営力の強化」

◎企業特性に応じたDX推進サポートの強化

- ◆(1) デジタル化推進による生産性向上支援
- ◆(2) 小規模事業者のDX支援を強化
(ア) デジタル化推進支援事業
(イ) 記帳指導対策事業
(3) 各種支援策情報の発信、支援機関との連携サポート



【チャットGPT活用セミナー】

推進方法2-2

「伴走型支援による小規模事業者の経営強化」

◎創業・事業承継支援の強化

- (1) 支援ネットワークを活用し、創業・事業承継に関して事業計画策定等の実施
(ア) 創業者支援事業
(イ) 高岡スタートアップ塾開催事業
(ウ) 事業承継支援事業



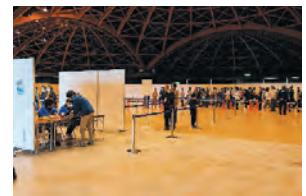
【高岡スタートアップ塾】

○ニューノーマルに対応したビジネスモデルの変革に挑戦する企業への支援強化

- (1) 業態転換等に取り組む事業者の新たな需要開拓への支援
(ア) 経営発達支援事業
(イ) 販路開拓支援事業
(ウ) プレミアム商品券事業



【台湾企業とのWEB商談会】



【たかおかプレミアム商品券の販売】

○新事業展開・業務改善に取り組む企業への支援強化

- (1) 中小企業施策（経営革新等）・各種補助金支援、専門家派遣等による伴走型支援
(ア) 制度改正に伴う専門家派遣事業
(イ) 新型コロナウイルス感染症対応等のための経営相談体制強化事業
(ウ) 経営指導員による経営改善普及事業
- ◆(2) BCP（事業継続力強化計画等）の策定支援
(ア) 事業継続力強化支援事業



【若手社員フォローアップ研修】

推進方法2-3

「クリエイター連携による工芸都市高岡の産地継承」

○クリエイターとの連携による情報共有・経営支援

- (1) クリエイター地元事業者との共同商品開発において販路開拓を図る等、クリエイターとの連携による支援を継続実施
(ア) クリエイター交流事業

○クラフトイベントの実施（支援）

- (1) クラフトコンへの継続開催
(ア) 工芸都市高岡クラフトコンペ事業

○伝統技術の継承・発信

- (1) 文化財の再現、修復事業の海外販路開拓（行政機関等との連携）
(ア) 文化財修復拠点化事業



【クラフト展 オープニング】

推進方法2-4

「呉西圏域連携による次世代産業の創出」

○関連機関との連携による新産業の創出

- (1) 次世代産業等に関して他機関と連携し、技術面や市場予測等の情報提供、地域企業の取組みを促進
(ア) 産学官等交流連携事業

○企業誘致・支援施設充実の推進

- (1) 地元企業の技術高度化に資する企業誘致の推進
(ア) 空き工場等有効活用事業
- ◆(2) 支援施設充実等の推進
(ア) 支援施設誘致推進事業



【産学連携クロスオーバーシステム】

地域振興プラン・戦略3

働きやすい魅力ある都市づくりの推進

推進方法3-1

「働き方改革の推進及び健康経営の普及」

◎新しい働き方の導入支援の強化

- ◆(1)テレワークやリモートワーク等、新しい働き方の実現に対し企業支援を強化
- (2)女性活躍推進や同一労働同一賃金の対応支援
- (3)経営者・従業員の意識改革の推進
- (ア)働き方改革推進事業

○健康経営宣言の普及

- (1)情報発信、セミナー開催等による健康経営の普及促進
- (ア)健康経営の普及促進

○移住・UIJターンの強化

- (1)「たかおか企業人材確保推進事業」の実施

- ◆(2)広域にわたる幅広い産業への就業機会と新居住空間の提供

- (ア)たかおか企業人材確保推進事業



【移住・転職フェア】

推進方法3-2 「都市交通機能の充実」

○都市交通機能の利便性向上

- ◆(1)城端線・氷見線の直通化及び万葉線との一体化の研究・推進

- (2)万葉線やあいの風とやま鉄道、バス等を含む県内総合交通システムの調査・検討

○新高岡駅 飛躍的増加を目指す利用促進活動の実施

- (1)北陸新幹線敦賀延伸に向け、新高岡駅の利用促進活動の実施及びかがやき停車の働きかけ

- (ア)新幹線まちづくり推進高岡市民会議による利用促進事業

- (イ)敦賀商工会議所との交流連携事業



【敦賀商工会議所との懇談】

推進方法3-3

「市街地再構築及び新高岡駅周辺のまちづくりの推進」

◎中心市街地と新駅を核とする都市の魅力向上の推進

- (1)ローカル5Gやeスポーツ施設等先進的なハード・技術投資を活用する魅力向上

- (ア)まちづくり事業への支援
- (イ)eスポーツ拠点運営支援事業

- (ウ)たかおかまちのゼミナール事業



【まちのゼミナール 講座】

- ◆(2)中心市街地、ミニ再開発・空き店舗活用等の支援

- (ア)空き家・空き店舗調査事業のフォロー
- (イ)まちなか賑わい創出事業（オタヤ子ども広場）

- (3)新高岡駅周辺 広域通勤居住圏・広域観光拠点の構築

○リノベーションまちづくりの推進

- (1)リノベーション物件の情報収集、起業相談等による支援

推進方法3-4 「商工会議所の体制強化」

◎商工会議所及び会員企業におけるパートナーシップ構築宣言及びSDGsの取組推進

- ◆(1)パートナーシップ構築宣言の推進と実行



【たかおかSDGsロゴマーク】

- ◆(2)会員企業向けセミナー等の開催、事業計画策定等のSDGs取組支援

- (ア)SDGs推進事業

- (3)事務局のデジタル化の推進

○商工会議所事業の強化

- (1)会員大会、会員企業PR事業、集合健康診断事業等の会員サービス事業の充実

- (ア)2023会員大会

- (イ)新春高岡経済懇談会



【会員大会 藤井氏講演会】



【新春経済懇談会「洋遊会」雅楽演奏】

- (ウ)雨晴海岸から望む立山連峰カレンダー事業

- (エ)集合健康診断事業

◆その他の事業

- (1)交流連携事業



【商工会議所友好交流懇談会】

- (2)地域活性化のための支援事業



【富山サンダーバース冠試合】

- (3)各種関連団体との連携



【台湾経済交流ミッション団 台湾訪問】

- (4)提案要望等意見活動

- (ア)高岡市及び高岡市議会への提案要望

- (イ)富山県への提案要望（富山県商工会議所連合会）

- (ウ)国、JR等関係機関への要望



【高岡市への提案要望の提出】

PHOTO LIBRARY



女性会 写経会

それぞれの願いをこめて写経書きを行う

当所女性会が令和2年振りに写経書きの会を高岡商工ビルで開催し、会員12名が参加した。手本を用紙の下に置き、お経を一文字一文字丁寧に書き写すことで、心を落ち着け、ゆったりとした時間を過ごした。参加者からは、「以前から興味があったが、なかなか行いう機会がなかったため良い機会となった」「久しぶりに写経書きができてよかった」との声が聞かれた。写経会終了後、ランチ会を開催し会員同士の交流を深めた。



富山県西部産業開発協議会総会

県西部地域の経済発展・地域産業の活性化を目指す

県西部6市と商工会議所・商工会、協賛企業などで構成される富山県西部産業開発協議会が、高岡商工ビルで総会を開催した。総会では、広域観光の推進に向けた協議会のウェブサイト開設などの事業計画が承認され、県に対する要望の内容も確認された。塩谷 雄一会長（当所会頭）は「県西部が一体となって、能登半島地震からの復旧・復興活動や支援、防災・減災対策を推進しながら、地域連携活動の強化に取り組みたい」と挨拶した。



女性に選ばれる地域づくり委員会

地域への愛着を生むポイントを探る

若者・女性の市内定着率向上を目指した当所の女性議員で構成する「女性に選ばれる地域づくり委員会」を開催し8名が出席した。第1回会議では富山大学学術研究部 芸術文化学系 講師 藪谷 祐介氏と富山大学大学院人文社会芸術総合研究科 森 豪大氏より若者のリターン促進に繋がる「シビックプライド」の醸成要因について解説。若者が能動的に地域を知る取り組みが必要であることを示唆し、参加者らは意見感想を交えながら議論を深めた。



近世高岡の文化遺産を愛する会総会

令和6年度事業計画が承認される

近世高岡の文化遺産を愛する会が高岡商工ビルで総会を開催し、37名が参加した。令和5年度事業報告・収支決算報告が承認された他、令和6年度事業計画としてオリジナルグッズの作成や視察の実施を決めた。菅野 克志会長（当所副会頭）は「高岡の歴史文化遺産を世界の宝にできるように活動を続けていきたい」と挨拶した。また、総会終了後は高岡市立博物館 主幹 学芸員 仁ヶ竹 亮介氏による講演会が開催された。古文書を通して高岡の歴史について説明を受け、参加者は理解を深めた。



常 議 員 会

令和5年度事業報告・収支決算、 新入会員の承認がなされる

高岡商工ビルにて高岡商工会議所常議員会が開催された。当所塩谷 雄一会頭が「地区割担当制による巡回活動や女性創業者・経営者支援チーム「ユニティカル」の設置など、きめ細やかな相談体制の強化を進めたい」と挨拶した。その後、議員1名の退任および常議員1名と議員3名の異動について報告が行われ、議案第1号「令和5年度 事業報告(案)・収支決算(案)」、第2号「新議員の選任」、第3号「新入会員の承認」についてそれぞれ審議され、承認された。



女性のための創業個別相談会

創業者のお悩みに女性チームが対応

女性を対象とした創業個別相談会をTASU高岡まちなかスタートアップ支援施設で開催し、創業を検討している4名の女性が相談に訪れた。当所女性職員からなる女性創業者・経営者の支援チーム「ユニティカル」のメンバーと、女性の経営相談業務を手がけるファミリーユ(株)の代表取締役 高木 奈津美氏が相談窓口として対応。創業のための場所探しや資金確保などについて相談があり、相談者からは「気軽に相談することができた」と好評だった。



省エネルギー推進セミナー

省エネ対策で生産性向上・コスト削減・エコに貢献

物価高騰が続く中、生産性向上に資する省エネ対策について学ぶ省エネルギー推進セミナーを開催し、16名が参加した。脱炭素先行地域に選ばれている高岡市の取組みについて市環境政策課から説明があった後、(一社)富山ふるさと省エネ協会 代表理事 九里 裕文氏およびエネルギー管理士 九里 桜子氏から企業における省エネの進め方について事例を交えた解説があった。また北陸電力(株)高岡支店からは電力使用量削減のための手法についての紹介があった。



事業継続力強化セミナー

事業継続力強化計画策定のポイントについて学ぶ

能登半島地震の発災を受けて、企業防災の重要性を周知するとともに、事業活動を可能な限り短い期間(時間)で再開できるように、事業継続力強化計画(通称「ジギョケイ」)の必要性を理解いただくためのセミナーを開催し7社が参加した。

中小企業基盤整備機構北陸本部担当者からは、事業継続力強化計画策定に向けた5つのステップや連携型事業継続力強化計画策定の意義やメリットについて説明があり、受講者は理解を深めた。

